

地域の「輝く人」紹介

様々な事情で困窮する子育て家庭へお弁当を届ける「OBENTO PROJECT」。この事業に福祉協力校として関わる明和中学校で、「野菜プロジェクト」を展開する教諭の山添和重さんをご紹介します。



コワモテだが情熱と優しさに溢れる山添さん(左)と、畑づくりに協力した小林農産さん。

山添さんは、2019年度から、ボランティア部の顧問として、斎王まつりへの出店や町の清掃、街頭募金など、生徒が地域の方と交流できる活動を積極的に行い、「OBENTO PROJECT」にも生徒が盛り付けに参加していました。ところが、コロナ禍によってほとんどの活動をストップせざるを得ない状況になり、山添さんは何かできることがないか考えていました。

一方、山添さんは、以前から特別支援学級の作業学習を担当しており、生徒と花を栽培していました。ボランティア部の活動が何もできない日々が続く中、支援学級の生徒から「野菜を作ってみたい」という声があがり、山添さんは、これだ!と思ったそうです。「その頃、植え込みの整備など、同時に複数の課題を抱えていたのですが、畑をすることでみんな解決できると気づきました」

山添さんは支援学級の生徒と一緒に、図書室にあった野菜づくりに関する本を全て読み漁りました。そして、元々植え込みだった学校南側の一番日当たりの良い場所を開墾しはじめたのです。栽培用の土づくりについて小林農産さんに相談すると、養分たっぷりの畑の土を、トラック6杯分も提供してくださり、畑づくりが大きく前進。22年6月から、育てた野菜を「OBENTO PROJECT」の食材として社協へご提供いただけるようになりました。

今年度から、山添さんは陸上部の顧問となり、ボランティア部からは離れましたが、所属を問わず、多様な人々がつながり合える仕組みを、この畑から作っていきたいという思いがあります。

「『野菜プロジェクト』って名前つけたけど、決まった人だけが関わるんじゃないかって、誰でも通りすがりにちょっと草抜きしていくとか、手伝ってくれたお礼にキュウリをあげるとか、そんなゆるやかで自然な関わりが生まれることが理想だね」

学校の生徒が取り組むボランティア活動には、地域の皆さんにご協力いただいている赤い羽根共同募金の配分金を社協から助成しています。

地域の皆さんの温かい思いが循環し、この輪がもっと大きくなるように、社協では引き続き皆さんの活動をサポートさせていただきます!



「野菜づくりは人づくり」と山添さん。生徒がいきいきしている。

地域をもっと良くしたい!そんな活動を展開されていたら、是非取材させてください!